

ウイルス性肝疾患に対する新規治療法に関する検討について

＜背景＞

11月13日に開催された中央社会保険医療協議会総会において、シメプレビルの薬価について審議され、11月19日に薬価収載されることになった。これにより、C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン、リバビリン及びシメプレビル3剤併用療法が保険適用となるため、医療費助成制度において、どのように取り扱うべきか、対応方針を検討する必要がある。

＜検討事項＞

- ①医療費助成制度の対象とすべきか。
- ②対象とする場合、条件を設定する必要があるか。

- ・対象患者の条件
- ・治療回数
- ・その他